

韓国語専攻 モデルカリキュラム

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:00-10:30			■ アジア研究入門	● 韓国語基礎 I		
2時限 10:40-12:10	■ 韓国文化概論 I	東アジア政治経 済論 I	▲ Freshman English(CSK)(a)		▲ Freshman English(CSK)(a)	
3時限 13:10-14:40	● 韓国語基礎 I	● 韓国語基礎 I		● 韓国語基礎 I		
4時限 14:50-16:20	◆ 基礎演習	■ 韓国史概論 I	● 韓国語基礎 I	▲ ビジネス英語 I	● 韓国語基礎 I	
5時限 16:30-18:00	▲ 総合英語 I (a)					

必修・選択必修 ●=地域言語科目 ▲=英語科目 ■=学科・専攻指定研究科目 ◆=導入科目

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:00-10:30			● 日韓翻訳法			
2時限 10:40-12:10	● 韓日通訳法	● 時事韓国語 I				
3時限 13:10-14:40		▲ English for Multicultural Communication		▲ English for Multicultural Communication	研究演習	
4時限 14:50-16:20	■ 韓国の宗教・社会 I		韓国語映像翻訳 法 I	韓国映像文化論 I	● 韓国語上級会話 I	
5時限 16:30-18:00						

必修・選択必修 ●=地域言語科目 ▲=英語科目 ■=学科・専攻指定研究科目

▶1年次

「韓国語基礎」は、それぞれ異なる教員が週6回の授業を担当します。日本人教員と韓国教員がそれぞれ文法や会話の授業を担当しますが、1年次にはまずすべての必修授業で韓国語の文字（ハングル）の読み書きを徹底的に学んでいきます。

1年次に履修可能な学科・専攻指定研究科目は限られていますが、「韓国文化概論」「韓国史概論」は選択必修科目でもあるため、今後の学習の入門として1年次に履修することをおすすめします。

英語必修科目は、中国語専攻、スペイン語専攻の学生と混合クラスで、週3回行われます。

▶3年次

3・4年次の韓国語必修科目は、通訳法、翻訳法、対話文、時事韓国語など、複数開講されている科目から、16単位分（週1回の授業を合計8コマ）選択します。

学科・専攻指定研究科目は、韓国の歴史や文化、政治など、さまざまな分野をより深く学ぶものになり、韓国に対して一面的でない、広い視野を養います。「韓国語映像翻訳法」は、現役字幕翻訳家が講師を担当し、専用の字幕作成ソフトを実際に使用する人気の授業です。

英語必修科目「English for Multicultural Communication」は、他言語専攻の学生と混合クラスで、週2回行われます。